

# 2019 年度事業計画

(2019 年 4 月 1 日 - 2020 年 3 月 31 日)

## I. 定期学術集会・総会の開催

第 66 回日本実験動物学会総会を下記のとおり開催する。

会 期 : 2019 年 5 月 15 日 (水) ~ 17 日 (金)  
会 場 : 福岡国際会議場  
会 長 : 小野 悦郎 (九州大学大学院医学研究院)  
参加者 : 約 1,000 名を予定

## II. 通常総会、理事会、理事評議員懇談会の開催

通常総会 (1 回)、理事会 (3 回)、理事評議員懇談会 (1 回) を開催する。

## III. 定期刊行物の発行

機関誌「Experimental Animals」および「実験動物ニュース」は下記のとおり発行する。

発行年月日	巻	号	備考
2019 年 4 月 1 日	68	2	
2019 年 5 月 1 日	68	サプレメント号 (電子配信)	
2019 年 7 月 1 日	68	3	
2019 年 10 月 1 日	68	4	
2020 年 1 月 1 日	69	1	

「Experimental Animals」の完全電子化は 69 巻 1 号より、「実験動物ニュース」の完全電子化は 68 巻 2 号より

## IV. 研究の奨励、業績の表彰

(1) 2019 年度学会賞受賞者を表彰する。

### 1) 功労賞 (3 名)

伊藤 喜久治 会員 (日本エスエルシー株式会社)  
小幡 裕一 会員 (理化学研究所バイオリソース研究センター)  
芹川 忠夫 会員 (京都疾患モデル研究所)

### 2) 安東・田嶋賞 (1 名)

浅野 雅秀 会員 (京都大学大学院医学研究科)  
「遺伝子改変技術に基づく多彩な生命現象の理解と疾患モデルの開発～糖鎖、エピジェネティクス、サイトカイン関連遺伝子の解析から～」

### 3) 奨励賞 (2 名)

井上 貴史 会員（実験動物中央研究所）

「コモンマーマウスによるヒト疾患モデル開発のための獣医学的研究」

宮田 治彦 会員（大阪大学微生物病研究所）

「ゲノム編集技術を用いた精子機能の解析」

4) 2018 年 Experimental Animals 最優秀論文賞（1 編）

秋山健太郎、蕨 栄治、岡田浩介、柳川 徹、石井哲郎、巨瀬勝美、徳重克年、石毛和紀、溝上裕士、山縣憲司、鬼澤浩司郎、有泉俊一、山本雅一、正田純一

Deletion of both *p62* and *Nrf2* spontaneously results in the development of nonalcoholic steatohepatitis

「*p62:Nrf2* 二重欠損マウスは非アルコール性脂肪性肝炎を自然発症する」

(2) 2018 年日本実験動物学会国際賞の表彰を行う。

2018 年受賞者（5 名）

マレーシア : Ms. Nur Syafinaz Zainal

フィリピン : Ms. Charmaine R. Peredas

スリランカ : Ms. Hesika Varnakulasingham

タイ : Ms. Ratchaneevan Aeimlapa

シンガポール : Dr. Sai Bo Bo Tun

(3) 2020 年度日本実験動物学会功労賞、安東・田嶋賞ならびに奨励賞の推薦受付、選考を行う。

(4) 2019 年 Experimental Animals 最優秀論文賞の選考を行う。

(5) 2019 年日本実験動物学会国際賞の選考を行う。

(6) 第 69 回日本実験動物学会総会大会長を選出する。

V. 役員（2020～2021 年度在任）の改選に関わる諸事業

(1) 会員名簿を作成する。

(2) 理事候補者を選出する。

VI. 委員会等の活動

下記の委員会を設置し、それぞれの目的に応じた活動を実施する。

a. 編集委員会

b. 学術集会委員会

c. 財務特別委員会

d. 国際交流委員会

e. 広報・情報公開検討委員会

f. 動物福祉・倫理委員会

g. 定款・細則・規定等検討委員会

- h. 実験動物感染症対策委員会
- i. 教育研修委員会
- j. 実験動物管理者研修制度委員会
- k. 外部検証委員会
- l. 人材育成委員会
- m. 将来検討委員会
- n. 動愛法等対策委員会

## VII. 定款の変更

外部検証専門員の認定・登録を実施するため、定款の（事業）第4条1項に資格付与を追加する。

## VIII. 動物実験に関する外部検証

「動物実験に関する外部検証事業」を外部検証プログラムに沿って実施する。

## IX. 外部検証のための人材育成

ナショナルバイオリソースプロジェクト「外部検証促進のための人材育成」課題を推進する。

## X. 関連学協会等との連携

- (1) 日本学術会議、生物科学学会連合及び動物実験関係者連絡協議会の活動に協力する。
- (2) 国内の関連学会・協会との学術・情報交換を進め、その活動に協力する。
- (3) 国際実験動物科学会議（ICLAS）及びアジア実験動物学会連合（AFLAS）における活動を継続する。
- (4) 米国実験動物学会（AALAS）など、海外関連学協会との学術・情報交流を推進する。
- (5) 公益財団法人実験動物中央研究所 ICLAS モニタリングセンターの活動に協力する。

## XI. その他

- (1) 第66回日本実験動物学会総会期間中に委員会主催のシンポジウムおよびセミナーを開催する。（学術集会委員会、動物福祉・倫理委員会、実験動物感染症対策委員会、教育研修委員会）また、関連学協会との円卓会議を実施する。
- (2) 2019年度維持会員懇談会を実施する。（財務特別委員会）
- (3) 第8回実験動物科学シンポジウムを開催する。（学術集会委員会）
- (4) 実験動物管理者等研修会を実施する。（実験動物管理者研修制度委員会）
- (5) 外部検証専門員講習会を実施する（人材育成委員会）
- (6) 動物実験の外部検証2020年度の実施準備に向けた説明会を開催する（人材育成委員

会)